

地域・企業共創による関係人口拡大モデル事業業務委託 企画提案審査要領

1 審査・選定方法

- (1) 審査項目、審査の視点及び配点は下記のとおり。
- (2) 審査の流れ
 - ① 審査は、企画提案書により実施する。提案者によるプレゼンテーション実施。
 - ② 審査員は、2 配点及び採点基準に掲げる審査項目ごとに採点し、配点及び採点基準をもとに採点を行う。
 - ③ 各審査員の審査結果を集計のうえ、平均点が60点以上の企画のうち合計点数の最上位者（企画提案者が1者の場合は、60点以上の者）を選定候補企画とする。

2 配点及び採点基準

- (1) 審査項目ごとに5点満点で採点し、表の係数欄に定める審査項目ごとの係数を乗じた合計100点満点で判定を行うものとする。
審査項目、配点は別紙 配点及び採点基準のとおり。
- (2) 評価は5段階で行うものとし、評価点の採点基準は下表のとおりとする。

| 採点基準 | 評価点 |
|----------------|---------|
| 非常に優れている | 5 点 |
| 優れている | 4 点 |
| 妥当 | 3 点 |
| やや劣っている | 2 点 |
| 劣っている（又は記述がない） | 0 ～ 1 点 |

(別紙)

配点及び採点基準

| 審査項目 | 審査の視点 | 配点 | 係数 | 得点 |
|--|--|----|----|-----|
| ①実施方針 | ・本事業の目的及び事業内容等を理解し、これらのことを踏まえた全体方針となっているか。 | 5 | 2 | 10 |
| ②企画内容 | ア) 関わりしろ（地域課題等）のブラッシュアップ | | | |
| | ・フィールドワークの実施や地域住民との対話による交流等により、地域住民の主体性の向上や住民間での企業との関わり方の方向性等の共有が期待できるものとなっているか。 ・関わりしろのブラッシュアップについて、地域側、企業側、双方にメリットがあるような具体的な提案がされているか。 | 5 | 3 | 15 |
| | イ) 都市部企業等とのマッチング支援 | | | |
| | ・地方創生等や地方（地域）と関わりを持ちたい企業を発掘できるネットワーク等を有しているか。 ・地域課題等に対応力のある企業を掘り起こし、地域と共に課題解決に向けた取り組みの実現が期待できるものとなっているか。 | 5 | 3 | 15 |
| | ウ) 地域と企業の協働の取り組みへのフォローアップ | | | |
| | ・現地での協働活動の実践について、具体的な提案となっているか。 ・マッチング企業との協働活動が地域に根付くことが期待できるものとなっているか。 ・協働活動のために企業が滞在するのに必要な情報（宿泊場所、移動手段など）が整理され、その共有方法が具体的に提案されているか。 | 5 | 3 | 15 |
| | エ) 事業のPR・情報発信、成果報告会等 | | | |
| | ・本事業による取組が、実施地域間で共有され、相乗効果が期待できる提案となっているか。 ・次年度以降の地域選定等にかかる提案がなされているか。 ・次年度以降の都市部企業等の発掘が加速するための取組が提案されているか。 | 5 | 1 | 5 |
| | オ) 実施体制の整備等について | | | |
| | ・本業務を効果的に実施していくための体制の整備体制の内容・考え方・方針が具体的に提案されているか。 ・守秘義務に関する規程、利用者の個人情報の取扱いに関する規程、苦情処理に関する体制整備など業務の執行に資する体制が示されているか。 | 5 | 1 | 5 |
| カ) 事業実施効果の測定及び報告 | | | | |
| ・KGI・KPIの数値は適切に設定されているか。 ・設定した数値目標が実現可能な提案となっているか | 5 | 1 | 5 | |
| ③ 計画性 | ・事業計画に無理が無く、妥当なスケジュールであるか。 | 5 | 1 | 5 |
| ④ 類似の 業務実績 | ・本県または他都道府県において、本業務の執行に活かすことのできる同種・類似業務の実績があるか。 | 5 | 3 | 15 |
| ⑤ その他 | ・本事業の効果を高めるため、提案企業のアセットを生かした企画が提案されているか。 | 5 | 1 | 5 |
| ⑥ 経費総括 | ・所要経費の積算は事業実施内容に対して妥当であるか。 ・経費の積算内容に不備、不適切なものはないか。 | 5 | 1 | 5 |
| | | 合計 | | 100 |